

「前例踏襲」と「横並び」をこえて

松本 友作

1. VUCAの時代とは

VOLATILITY (変動性)
COMPLEXITY (複雑性)

UNCERTAINTY (不確実性)
AMBIGUITY (曖昧性)

2. 不測の事態への対応

「天下の禍は、多くは隠れて成りて卒に至り、或いは偶ま激して遂に成る。
隠れてなる者は予め防ぐことを貴び、偶ま激する者は堅忍を貴ぶ。」

— 呂新吾 著「呻吟語」 —

- ・陰で進行しているもの → いち早くその動きを察知し、未然に防ぐため予め手立てを講ずる
- ・予測のつかない突発的な禍 → 辛抱強く、ひとつひとつ対処する

※ 東日本大震災・原発事故の経験と新型コロナウイルス問題について

3. 活力ある組織づくりのために

(1) 「個人のカ」と「組織のカ」

— 他者との協働による「全体最適」の実現

(2) 人的ネットワークを作る

— 「弱いつながり」と「強いつながり」

(3) 多様性を大切に

— 質の高い意思決定と組織のレジリエンス(弾力性、復元力)のために

(4) フォロワーシップについて

— 各メンバーが自律的・主体的にリーダーや他のメンバーに働きかけ支援すること = 「相互支援」

4. まとめ

「T字型人間」のすすめ → 自分で考える力を養う → 創造力・構想力

「T字型人間」とは

<より幅広く>

